

2021年2月期 連結決算概要

1. 業績

(単位：百万円)

	2020年2月期	2021年2月期	増減	2022年2月期 (予想)
売上高	32,042	31,603	△439	33,450
営業利益	1,204	1,030	△174	1,240
経常利益	1,225	1,204	△21	1,290
親会社株主に帰属する当期純利益	801	836	35	870
1株当たり当期純利益	210円36銭	221円63銭	11円27銭	231円61銭
自己資本当期純利益率	8.1%	8.1%	0	

2. セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2020年2月期	2021年2月期	増減
調剤薬局事業	売上高	22,898	22,038	△860
	営業利益	1,436	1,307	△129
ヘルスケア事業	売上高	6,250	6,680	430
	営業利益	315	167	△148
医薬品卸事業	売上高	2,661	2,657	△4
	営業利益	82	82	0
不動産事業	売上高	232	227	△5
	営業利益	133	119	△14
調整額	売上高	—	—	—
	営業利益	△763	△646	117
合計	売上高	32,042	31,603	△439
	営業利益	1,204	1,030	△174

3. 損益計算書

(単位：百万円)

	2020年2月期	2021年2月期	増減
売上高	32,042	31,603	△439
売上総利益	3,439	3,203	△236
販管費および一般管理費	2,234	2,172	△62
営業利益	1,204	1,030	△174
経常利益	1,225	1,204	△21
有価証券売却益	68	324	256
その他特別利益	40	2	△38
特別損失	62	86	24
税金等調整前当期純利益	1,272	1,443	171
法人税等	470	607	137
当期純利益	801	836	35
親会社株主に帰属する当期純利益	801	836	35

4. 貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年2月期末 現在	2021年2月期末 現在	増減		2020年2月期末 現在	2021年2月期末 現在	増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	12,183	13,654	1,471	買掛金	3,332	3,445	113
現金および預金	5,694	7,003	1,309	1年内返済予定長期借入金等	3,134	3,991	857
売掛金	4,660	4,737	77	長期借入金	6,777	7,611	834
商品	1,141	1,095	△46	その他の負債	2,777	3,021	244
その他	687	819	132	負債合計	16,022	18,069	2,047
固定資産	14,010	14,900	890	(純資産の部)			
有形固定資産	9,986	10,114	128	株主資本	10,046	10,476	430
無形固定資産	1,373	1,933	560	その他の包括利益累計額	124	9	△115
投資その他の資産	2,649	2,852	203	純資産合計	10,170	10,486	316
資産合計	26,193	28,555	2,362	負債純資産合計	26,193	28,555	2,362

5. キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2020年2月期	2021年2月期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,823	1,822	△1
投資キャッシュ・フロー	△375	△1,180	△805
財務キャッシュ・フロー	△1,092	590	1,682
現金および現金同等物の増減	355	1,232	877

※百万円以下を切り捨てて掲載しています。



2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月12日

上場会社名 株式会社メディカル光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 櫻井 利治 (TEL) 059(226)1193
 定時株主総会開催予定日 2021年5月26日 配当支払開始予定日 2021年5月6日
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	31,603	△1.4	1,030	△14.5	1,204	△1.7	836	4.3
2020年2月期	32,042	2.6	1,204	15.5	1,225	16.3	801	12.7

(注) 包括利益 2021年2月期 721百万円(△6.5%) 2020年2月期 771百万円(59.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	221.63	—	8.1	4.4	3.3
2020年2月期	210.36	—	8.1	4.7	3.8

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 一百万円 2020年2月期 一百万円

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	28,555	10,486	36.7	2,791.69
2020年2月期	26,193	10,170	38.8	2,667.87

(参考) 自己資本 2021年2月期 10,486百万円 2020年2月期 10,170百万円

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	1,822	△1,180	590	6,805
2020年2月期	1,823	△375	△1,092	5,572

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	40.00	—	45.00	85.00	162	20.2	1.6
2021年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00	150	18.0	1.5
2022年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		18.0	

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期及び2021年2月期につきましては実際の配当金の金額を記載しており、2022年2月期(予想)につきましては、株式分割後の金額を記載しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,750	7.9	600	51.9	640	59.0	430	△1.1	114.47
通期	33,450	5.8	1,240	20.3	1,290	7.1	870	4.0	231.61

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期	4,070,000株	2020年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期	313,834株	2020年2月期	257,634株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	3,772,907株	2020年2月期	3,812,366株

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. その他	15
(1) 役員の異動	15
(2) その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年3月1日～2021年2月28日)における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い4月に緊急事態宣言が発令されるなど経済活動が停滞し、年初より状況が一変いたしました。その後、緊急事態宣言が解除され徐々に経済活動の再開が見られたものの、その後も感染の再拡大が発生するなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、感染防止対策を徹底し、患者様、利用者様はもちろんのこと、社員の安全確保に取り組み、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により薬局の認定制度導入等が示され、2020年9月からは、必要に応じた服薬期間中のフォローアップが義務化されるなど、求められる役割は大きく変化してきております。当社グループは、安全性を最優先とし、かかりつけ薬局、在宅業務など薬剤師が期待される役割を果たし地域社会から信頼される薬局づくりに取り組んでおります。

ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、コロナ禍における介護サービスの社会的重要性が再認識されるなか、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高31,603百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益1,030百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益1,204百万円(前年同期比1.7%減)、税金等調整前当期純利益1,443百万円(前年同期比13.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は836百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関への受診抑制等の影響により、応需処方箋枚数は減少し減収となりました。緊急事態宣言の解除後には、応需処方箋枚数は緩やかな回復傾向が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化し厳しい事業環境が続きました。薬局運営につきましては、人員の適正配置、業務の効率化ならびに各種経費の圧縮を図りました。

この結果、売上高22,038百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益1,307百万円(前年同期比9.0%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は合計93店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、新型コロナウイルス感染防止策を徹底し、介護サービスを提供してまいりました。有料老人ホーム等においては引き続き入居者確保を推進いたしました。2020年11月に愛知県で有料老人ホームを運営する株式会社ライフケアをグループ化したことにより、同社売上高が寄与し増収となりました。訪問介護、通所介護等につきましては、感染リスクを懸念した利用控えが影響し利用者数は減少しました。

また、M&Aに係る経費・手数料として52百万円を計上しております。

この結果、売上高6,680百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益167百万円(前年同期比46.9%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの居住系介護施設は、グループ化した株式会社ライフケアの施設を加え合計42施設、1,417床となっております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2020年4月に行われました薬価改定の影響、ならびに新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療の抑制や営業活動の制限等により、厳しい事業環境となりました。

この結果、売上高2,657百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益82百万円(前年同期比0.3%減)となりました。(内部売上を含む売上高は3,722百万円となり、前年同期比で1.9%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高227百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益119百万円(前年同期比11.1%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却損益321百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として1,066百万円を消去するとともに、全社における共通経費として646百万円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は28,555百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,361百万円増加いたしました。

流動資産の合計は13,654百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,471百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,309百万円、流動資産のその他が131百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産の合計は14,900百万円となり、前連結会計年度末と比較して890百万円増加いたしました。これは主に、のれんが571百万円、建設仮勘定が242百万円、敷金及び保証金が168百万円それぞれ増加し、建物及び構築物が124百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は18,069百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,046百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が1,690百万円、買掛金が112百万円、流動負債のその他が106百万円、退職給付に係る負債が100百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産合計は10,486百万円となり、前連結会計年度末と比較して315百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が675百万円増加したものの、自己株式が261百万円増加し、その他有価証券評価差額金が107百万円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1,232百万円増加し6,805百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,822百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローが1,180百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローが590百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,822百万円(前年同期比0百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,443百万円、減価償却費・のれん償却額835百万円、仕入債務の増加104百万円などの増加要因と、法人税等の支払607百万円、投資有価証券売却益321百万円などの減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,180百万円(前年同期比805百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入1,124百万円などの増加要因と、投資有価証券の取得による支出1,108百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出665百万円、有形固定資産の取得による支出470百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、590百万円(前年同期比1,683百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純増加1,065百万円などの増加要因と、自己株式の取得による支出271百万円、配当金の支払160百万円などの減少要因によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
自己資本比率(%)	32.5	36.2	36.4	38.8	36.7
時価ベースの自己資本比率(%)	53.6	86.6	65.9	62.9	39.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	17.4	7.3	21.6	5.6	6.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	8.0	20.3	8.3	31.6	33.8

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、年初より景気の先行は一変し、その影響の予測は難しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、患者様および利用者様はもちろんのこと、社員と社員の家族の安全確保、感染拡大防止を最優先に取り組み、事業への影響を最小限に抑えるべく必要な対応を行ってまいります。

また、社会情勢を見極めながら新規出店やM&Aに取り組むとともに、各事業の収益性の向上を図ってまいります。

主力である調剤薬局事業におきましては「患者のための薬局ビジョン」で示される患者本位の医薬分業の実現に向けた施策を踏まえ、患者さまの視点に立った医療サービスを行い、地域社会から信頼される「かかりつけ薬局」づくりを目指してまいります。

ヘルスケア事業におきましては、居住系介護施設の入居者確保に注力するとともに介護サービス向上に努めてまいります。

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策を背景に拡大する市場において、営業エリアの拡大と収益力強化を図ってまいります。

通期の連結業績は、売上高33,450百万円、営業利益1,240百万円、経常利益1,290百万円、親会社株主に帰属する当期純利益870百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、新型コロナウイルスの終息時期等の様々な要因によって変動する可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,694,164	7,003,288
売掛金	4,660,787	4,737,017
商品	1,141,289	1,095,008
その他	690,571	822,283
貸倒引当金	△3,282	△2,708
流動資産合計	12,183,529	13,654,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,973,112	12,413,344
減価償却累計額	△5,663,343	△6,227,807
建物及び構築物(純額)	6,309,768	6,185,536
車両運搬具	172,615	148,227
減価償却累計額	△124,307	△110,838
車両運搬具(純額)	48,307	37,388
工具、器具及び備品	1,397,383	1,468,455
減価償却累計額	△1,167,286	△1,236,036
工具、器具及び備品(純額)	230,097	232,418
土地	3,158,317	3,176,825
建設仮勘定	240,314	482,427
有形固定資産合計	9,986,805	10,114,596
無形固定資産		
のれん	1,209,292	1,780,504
その他	164,195	152,768
無形固定資産合計	1,373,488	1,933,272
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,689	1,090,920
繰延税金資産	324,303	422,406
敷金及び保証金	739,583	907,820
その他	436,249	431,693
投資その他の資産合計	2,649,826	2,852,841
固定資産合計	14,010,120	14,900,710
資産合計	26,193,649	28,555,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	38,978	45,547
買掛金	3,332,745	3,445,500
短期借入金	35,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	3,099,860	3,251,061
未払法人税等	345,354	359,759
賞与引当金	219,351	221,356
その他	928,659	1,034,774
流動負債合計	7,999,950	9,098,000
固定負債		
長期借入金	6,777,703	7,611,616
リース債務	265,165	245,328
退職給付に係る負債	595,389	696,054
その他	384,516	418,547
固定負債合計	8,022,774	8,971,545
負債合計	16,022,724	18,069,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	853,083
利益剰余金	8,572,458	9,247,768
自己株式	△280,002	△541,555
株主資本合計	10,046,505	10,476,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,134	7,310
退職給付に係る調整累計額	9,283	2,446
その他の包括利益累計額合計	124,418	9,756
純資産合計	10,170,924	10,486,053
負債純資産合計	26,193,649	28,555,599

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	32,042,454	31,603,667
売上原価	28,602,625	28,400,440
売上総利益	3,439,829	3,203,226
販売費及び一般管理費	2,234,999	2,172,887
営業利益	1,204,829	1,030,339
営業外収益		
受取利息	1,141	1,499
受取配当金	23,158	25,849
助成金収入	24,190	179,375
受取保険金	—	17,463
その他	35,593	29,283
営業外収益合計	84,083	253,471
営業外費用		
支払利息	58,998	53,743
損害賠償金	—	17,468
その他	4,535	8,474
営業外費用合計	63,533	79,685
経常利益	1,225,378	1,204,125
特別利益		
固定資産売却益	8,821	2,231
投資有価証券売却益	68,986	324,201
補助金収入	32,000	—
特別利益合計	109,808	326,433
特別損失		
固定資産売却損	43	868
固定資産除却損	3,672	394
減損損失	25,729	80,338
固定資産圧縮損	32,000	—
投資有価証券売却損	—	2,517
賃貸借契約解約損	1,000	2,506
特別損失合計	62,445	86,626
税金等調整前当期純利益	1,272,742	1,443,932
法人税、住民税及び事業税	528,073	619,914
法人税等調整額	△57,324	△12,202
法人税等合計	470,749	607,712
当期純利益	801,993	836,220
親会社株主に帰属する当期純利益	801,993	836,220

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	801,993	836,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,178	△107,824
退職給付に係る調整額	6,665	△6,837
その他の包括利益合計	△30,512	△114,661
包括利益	771,480	721,558
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	771,480	721,558

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	837,050	7,922,959	△280,002	9,397,006
当期変動額					
剰余金の配当			△152,494		△152,494
親会社株主に帰属する当期純利益			801,993		801,993
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	649,498	—	649,498
当期末残高	917,000	837,050	8,572,458	△280,002	10,046,505

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	152,313	2,618	154,931	9,551,938
当期変動額				
剰余金の配当				△152,494
親会社株主に帰属する当期純利益				801,993
自己株式の取得				—
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△37,178	6,665	△30,512	△30,512
当期変動額合計	△37,178	6,665	△30,512	618,986
当期末残高	115,134	9,283	124,418	10,170,924

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	837,050	8,572,458	△280,002	10,046,505
当期変動額					
剰余金の配当			△160,909		△160,909
親会社株主に帰属する当期純利益			836,220		836,220
自己株式の取得				△271,920	△271,920
自己株式の処分		16,033		10,366	26,400
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	16,033	675,310	△261,553	429,790
当期末残高	917,000	853,083	9,247,768	△541,555	10,476,296

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	115,134	9,283	124,418	10,170,924
当期変動額				
剰余金の配当				△160,909
親会社株主に帰属する当期純利益				836,220
自己株式の取得				△271,920
自己株式の処分				26,400
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△107,824	△6,837	△114,661	△114,661
当期変動額合計	△107,824	△6,837	△114,661	315,128
当期末残高	7,310	2,446	9,756	10,486,053

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,272,742	1,443,932
減価償却費	634,000	626,180
減損損失	25,729	80,338
のれん償却額	191,905	209,253
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△351	△574
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,230	△25,991
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47,451	44,015
受取利息及び受取配当金	△24,299	△27,348
支払利息	58,998	53,743
投資有価証券売却損益(△は益)	△68,986	△321,683
固定資産売却損益(△は益)	△8,778	△1,363
固定資産除却損	3,672	394
賃貸借契約解約損	1,000	2,506
売上債権の増減額(△は増加)	△81,169	86,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95,693	49,544
仕入債務の増減額(△は減少)	9,229	104,625
未払費用の増減額(△は減少)	69,954	△9,621
預り保証金の増減額(△は減少)	△523	△5,846
その他	48,561	148,979
小計	2,085,673	2,457,251
利息及び配当金の受取額	23,147	26,276
利息の支払額	△57,684	△53,904
法人税等の支払額	△227,812	△607,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,823,323	1,822,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△451,672	△470,384
有形固定資産の売却による収入	71,504	8,656
無形固定資産の取得による支出	△29,606	△17,972
投資有価証券の取得による支出	△285,214	△1,108,279
投資有価証券の売却による収入	412,457	1,124,928
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△665,337
長期前払費用の取得による支出	△32,068	△3,901
敷金及び保証金の差入による支出	△3,296	△27,123
敷金及び保証金の回収による収入	17,691	19,271
その他	△74,820	△40,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,027	△1,180,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	497,126
長期借入れによる収入	3,050,000	3,970,000
長期借入金の返済による支出	△3,943,200	△3,401,924
リース債務の返済による支出	△47,001	△41,487
自己株式の取得による支出	—	△271,920
配当金の支払額	△152,494	△160,909
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,092,696	590,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	355,598	1,232,881
現金及び現金同等物の期首残高	5,217,048	5,572,647
現金及び現金同等物の期末残高	5,572,647	6,805,529

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を運営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

当連結会計年度の期首に、当社の連結子会社である株式会社ハピネライフー光の事業の一部を会社分割し、同じく連結子会社である株式会社ヘルスケア・キャピタルへ承継いたしました。

この組織再編に伴い、従来「ヘルスケア事業」に属していた賃貸不動産管理事業を「不動産事業」に移管しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、当該変更後の区分により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,898,374	6,250,786	2,661,075	232,217	32,042,454	—	32,042,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	365	993,365	2,520	996,250	△996,250	—
計	22,898,374	6,251,152	3,654,440	234,737	33,038,705	△996,250	32,042,454
セグメント利益	1,436,046	315,249	82,959	133,923	1,968,178	△763,349	1,204,829
セグメント資産	8,277,321	8,437,362	1,255,860	1,650,088	19,620,633	6,573,016	26,193,649
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	153,356	379,023	11,874	41,150	585,405	48,595	634,000
減損損失	25,729	—	—	—	25,729	—	25,729
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	104,390	23,131	2,769	—	130,290	175,388	305,679

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△763,349千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,132,367千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,573,016千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産12,589,992千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。

- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,038,529	6,680,494	2,657,630	227,013	31,603,667	—	31,603,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100	1,064,407	2,160	1,066,667	△1,066,667	—
計	22,038,529	6,680,594	3,722,037	229,173	32,670,334	△1,066,667	31,603,667
セグメント利益	1,307,238	167,399	82,730	119,053	1,676,421	△646,082	1,030,339
セグメント資産	7,436,628	9,848,024	1,352,889	1,627,519	20,265,062	8,290,537	28,555,599
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	140,969	377,465	8,346	40,158	566,940	55,010	621,951
減損損失	80,338	—	—	—	80,338	—	80,338
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	128,494	77,666	400	—	206,560	257,689	464,250

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△646,082千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,329,650千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額8,290,537千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,771,518千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	155,476	34,093	2,335	—	—	191,905
当期末残高	905,238	266,484	37,570	—	—	1,209,292

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	150,496	56,421	2,335	—	—	209,253
当期末残高	731,396	1,013,873	35,234	—	—	1,780,504

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
1株当たり純資産額	2,667円87銭	1株当たり純資産額	2,791円69銭
1株当たり当期純利益金額	210円36銭	1株当たり当期純利益金額	221円63銭

(注) 1 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	10,170,924	10,486,053
純資産の部から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る純資産額(千円)	10,170,924	10,486,053
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,812,366	3,756,166

4 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益(千円)	801,993	836,220
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	801,993	836,220
普通株式の期中平均株式数(株)	3,812,366	3,772,907

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2021年1月20日開催の取締役会において株式分割を行うことを決議し、3月1日付で実行いたしました。

1 株式分割の目的

株式の分割を行うことにより、投資単位当たりの金額を引き下げ投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2021年2月28日(日曜日)(ただし当日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は2021年2月26日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,035,000株
今回の分割により増加する株式数	2,035,000株
株式分割後の発行済株式総数	4,070,000株
株式分割後の発行可能株式総数	6,000,000株 (増減なし)

(3) 分割の日程

基準日公告日	2021年2月1日(月曜日)
基準日	2021年2月28日(日曜日) (当日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は2021年2月26日(金曜日))
効力発生日	2021年3月1日(月曜日)

3 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割による影響については、「(5)連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」に記載しております。

4. その他

(1) 役員の変動

① 退任予定取締役

取締役 滝口 広子(本名 玉泉 広子)

② 新任取締役候補者

取締役 安達 佳之 (現 株式会社メディカルー光 代表取締役)
取締役 堀野 桂子(本名 桶菫 桂子)(現 弁護士法人北浜法律事務所 パートナー)

③ 異動予定日

2021年5月26日

(2) その他

該当事項はありません。